学校番号	3010

令和8年度　　数学　　科

教科	数学	科目	数学Ⅱ	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	数学Ⅱ Essence（東京書籍）						
副教材等	Essence Buddy CATCH 数学Ⅱ（東京書籍）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

公式を覚えることは必要ですが、暗記だけに終わらせるのではなく、なぜその公式が成り立つのか、どんな問題でどの公式をどのように使うのかを理解することが必要です。ノートは、板書を単に写すだけでなく、例題の解法等において、考え方や手順、そこで必要な公式等の確認事項などが十分に理解できるように作成することが大切です。例題を参考に積極的に練習問題等に取り組み、繰り返しのなかで理解を深めるように努めてください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】

指数関数・対数関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

数学的な考え方を活用し問題解決をしたり，日常生活での困難な問題への応用ができるようになる力を身に付けさせる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・指数関数・対数関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	・関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力を身に付けている。 ・関数の局所的な変化に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。	・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	4章　指数関数と対数関数	1節 指数関数 1 指数の拡張 2 累乗根 3 指数関数とそのグラフ 4 指数関数の利用 2節 対数関数 1 対数 2 対数の性質 3 対数関数とそのグラフ 4 常用対数 5 対数関数の利用	a:指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解し，指数法則を用いて数や式の計算をすることができる。指数関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。対数の意味とその基本的な性質について理解し，簡単な対数の計算をすることができる。対数関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 b:指数と対数を相互に関連付けて考察することができる。指数関数及び対数関数の式とグラフの関係について，多面的に考察することができる。２つの数量の関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題を解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 c:事象を指数関数・対数関数の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとし	・発問評価 ・ノート確認 ・課題プリント ・小テスト ・定期考査	・発問評価 ・ノート確認 ・課題プリント ・小テスト ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・ノート確認

2	5章 微分と積分	1節 微分係数と導関数 1 平均変化率 2 微分係数 3 導関数 2節 導関数の応用 1 接線の方程式 2 関数の増加・減少 3 関数の極大・極小 4 関数の最大・最小 5 方程式への応用	a:微分係数や導関数の意味について理解し，関数の定数倍，和及び差の導関数を求めることができる。導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ，グラフの概形をかく方法を理解している。 b:関数とその導関数との関係について考察することができる。関数の局所的な変化に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題を解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 c:事象を微分の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	・発問評価 ・ノート確認 ・課題プリント ・小テスト ・定期考査	・発問評価 ・ノート確認 ・課題プリント ・小テスト ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・ノート確認 ・課題プリント
3	5章 微分と積分	3節 積分 1 不定積分 2 定積分 3 定積分と面積	a:不定積分及び定積分の意味について理解し，関数の定数倍，和及び差の不定積分や定積分の値を求めることができる。 b:微分と積分の関係に着目し，積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察することができる。 c:事象を積分の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	・発問評価 ・ノート確認 ・課題プリント ・小テスト	・発問評価 ・ノート確認 ・課題プリント ・小テスト	・授業態度 ・発問評価 ・ノート確認 ・課題プリント

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度